

まちづくり懇談会報告

市内8会場で活発な意見交換

「心の通うあたたかなまちづくり」、「住む人を大切にするまちづくり」の実現に向けて、市民の皆さまのご意見やご提言を直接お聴きする「まちづくり懇談会」を5月13日の東深川地区を皮切りに6月3日の俵山地区まで市内8会場で開催し、多くの皆さまのご参加をいただきました。各会場では「市町村合併問題」を中心に活発な意見が交換され、市民の皆さまからお寄せいただいたご要望やご提言等は184件にのぼり、大変有意義な懇談会となりました。心からお礼申し上げます。

懇談会では、松林市長が市政への取り組みについて説明を行い、本年3月にまとめた市町村合併シミュレーション調査の結果について市の担当者が説明しました。

引き続き行われた参加者との意見交換会では、合併問題をはじめ、市政全般にわたる内容の意見が交換され、予定時間を超える会場もありました。

松林市長の「市政への取り組み」の概要と、市民の皆さまからお寄せいただきましたご意見やご提言の中から主なものを紹介します。

市政への

取り組みについて

市長に就任し、5月で折り返し点の3年目を迎えることになりました。予てからの公約でもあります「心の通うあたたかなまちづくり」、「住む人を大切に

するまちづくり」の実現に向けて、市民の皆様のご意見やご提言をお聴きすることは必要不可欠と考えており、市民の皆様と直接膝を突き合わせた形で、意見交換をしながら市政運営に反映をしたいと思っております。

これまでの2年間は、公約を実施する上での計画づくりの年として、「行政改革大綱」「観光基本計画」「男女共同参画計画」「子育て支援推進計画」など各種計画の策定に取り組んでまいりました。今年には、これらの計画

を実施に移す段階に入ったと思っております。

ケープルテレビにつきましては、私の公約の一つでもありません。情報が進む現在、都市との情報格差を是正するためには、都会にあるものをそのまま構築するのではなく、地方、そして地域独自の整備を行う必要があり、福祉や地域医療など幅広い分野で、10年先、20年先にも十分耐えられる整備を行っていく必要があるという考え方で、行政を進めさせていただいております。

昨年のみすゞさんがテレビドラマに映画、舞台にと全国に発信されましたが、来年はみすゞさんの生誕百年にあたり、金子みすゞ記念館の建設で地元を盛り上げていきたいと思っております。

今年にはIWCの国際捕鯨委員会が下関市で開催され、5月11日には外国の関係者の皆さんに